

備えましょう防災ラジオ 今後は緊急放送の範囲も拡大

9月9日、台風18号の接近に伴い利根川の水位が上昇し、本市で初めて避難準備情報を発表しました。この際、防災ラジオを自動起動させ、情報提供できなかったことをお詫びします。

防災ラジオは、大規模な災害時や、その恐れがあるときに、電源を自動起動。まえばしCITYエフエムから大音量で放送を流すことができます。今後は、行方不明者などの人命に関わる情報も含め、緊急放送の範囲を拡大します。防災ラジオの購入は、前橋プラザ元気21内まえばしCITYエフエムで、1台2,000円です。

問い合わせは 危機管理室 ☎027-898-5935

2011年1月に開局したまえばしCITYエフエム。東日本大震災が起きたのは、その直後の3月のことでした。リスナーから「水が出ない。信号が止まっている」など、地域の局地的な情報が多数寄せられ、まさにリスナーに支えられた放送局だと実感したそう。その後の計画停電でも、時刻を知らせる放送などが続けられました。

不安の中で温かい人の声 一家に一台ラジオを備える

防災情報はこの放送局の責務だと実感しましたね」と木村放送局長は話します。災害時の不安のなかでは、「人の声」で情報が届くラジオが、改めて見直される契機にもなりました。

災害時に適切な防災情報を提供するのには、コミュニティラジオの大切な責務です。行政などと連携し、前橋の情報を中心に、正確な情報を迅速に放送します。災害時は混乱し、不確かな情報が流れることもありますので、安全で速やかな行動をとる

ために役立ちます。また、防犯情報の発信にも力を入れていて、県防犯協会や警察などの協力により「防犯チャンネル84.5」を小中学校の下课時刻に合わせて放送。地域で行われている防犯パトロールなどの効果を、より確実なものにしています。



松本 亜希子さん

まえばしCITYエフエム

2011年1月に開局した前橋市とその周辺を放送地域にしたコミュニティー放送局。前橋プラザ元気21内にスタジオがあり、国道50号側から放送の様子を見学できる。周波数84.5MHz、愛称は「M-wave」。

問 同局 ☎027-233-0845

INTERVIEW

リスナーの顔が見えるラジオ



まえばしCITYエフエム
放送局長 木村 英一 さん

まえばしCITYエフエムは前橋市民のためのラジオ局です。番組に寄せられた情報やメールは、可能な限り全て読むという心構えで放送しています。送ってくれる人は、読まれるまでずっと待ってくださっているのですから。私たちの放送局は、市民が主役として舞台上がらなければ意味がありません。私たちスタッフは、その手助けのプロでありたいんです。多くの人に、特技を生かしてラジオで活躍してほしいですね。

MAEBASHI CITY FM[®]
M-wave 84.5 MHz



浅野 澄さん

MOWAVE. 84.5MHz

人と人をつなぐ人の声

ラジオの魅力は「人の声」で情報が届くこと。地域のラジオ「まえばしCITYエフエム」。特に災害時には、その力が役立ちます。

問い合わせは 市政発信課 ☎027-898-6642

あなたの活躍を発信できる
地域に貢献するラジオ局です

コミュニティーラジオとは、市区町村を放送対象地域としたラジオのことで、まえばしCITYエフエムもその一つです。音楽番組やトーク番組だけでなく、地域のニュースや飲食店の紹介、イベントの生中継でリスナーに参加を呼びかけるなど、前橋での暮らしに特化した番組をお届けしています。リスナーのほとんどが前橋市民で、市民参加型の番組が多く、リスナーと制作者の距離が近いのが最大の特徴。特技を生かして自分の番組を持って活躍する市民もいます。

車の運転中や仕事中等など、多くの人が「ながら聴き」をするのもラジオの特徴。ちょっとした時間に身近な情報を得られます。まえばしCITYエフエムは、誰でも参加できるラジオ局。あなたの活動をラジオで発信してみたいかでしょうか。

